

滋ト協第462号
平成29年11月2日

会 員 各 位

一般社団法人 滋賀県トラック協会
会 長 田 中 亨
＜公印省略＞

物流セミナーの開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、協会諸事業に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会経営支援委員会では、事業用トラックへの正しい理解と輸送サービスの向上を目的に荷主対策事業の一環として、恒例の「物流セミナー」を下記により開催致します。

つきましては、日頃ご愛顧いただいている貴社荷主をお誘い合わせのうえ、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、荷主あて案内文を同封しておりますので各位よりご持参の上ご勧誘いただき、別紙回答用紙により来る11月10日（金）までにトラック協会あてFAXによりご回答をお願い申し上げます。

なお、荷主あて招待状不足の場合は恐れ入りますが、コピーをお願い致します。

敬具

記

1. 日時 平成29年11月22日（水） 15時00分開会（14時00分より受付）
17時00分頃終了予定
2. 場所 びわ湖大津プリンスホテル
大津市におの浜4-7-7 TEL 077-521-1111
3. 講演 演題 「これからの日本経済を展望する～物流業界の未来～」

講師 ジャーナリスト
長谷川 幸 洋 氏

追伸：JR大津駅前よりびわ湖大津プリンスホテルまで無料シャトルバスが別紙のとおり運行されますので是非ご利用下さい。

滋ト協第463号
平成29年11月1日

荷主企業各位

一般社団法人 滋賀県トラック協会
会長 田中 亨
<公印省略>

物流セミナーの開催について（ご案内）

拝啓 仲秋の候 御社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会会員が格別のご愛顧を賜っておりますこと心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨今の経済情勢は依然として厳しい中ではございますが、この度、当協会において荷主の皆様方ともども互いの企業経営に資するべく、下記のとおり講演会を企画いたしました。

つきましては、業務何かとご多忙のところ誠に恐縮とは存じますが、日頃ご愛顧いただいております会員事業者とご同道いただき、当セミナーにご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 平成29年11月22日（水） 15時00分開会（14時00分より受付）
17時00分頃終了予定
2. 場所 びわ湖大津プリンスホテル
大津市におの浜4-7-7 TEL 077-521-1111
3. 講演 演題 「これからの日本経済を展望する～物流業界の未来～」

講師 ジャーナリスト
長谷川 幸 洋 氏

追伸： JR大津駅前よりびわ湖大津プリンスホテルまで無料シャトルバスが別紙のとおり運行されますので是非ご利用下さい。

平成29年度
物流セミナー出席回答用紙
平成29年11月22日（水）開催

会員会社名

参加者氏名

参加者氏名

※ 荷主会社様の氏名は、下記の欄に社名を含めご記入下さい。
また氏名を正確に把握するため、FAXにてお申込み下さい。

荷主会社名

参加者氏名

参加者氏名

荷主会社名

参加者氏名

参加者氏名

滋賀県トラック協会

FAX 077-585-8015

長谷川 幸洋 (はせがわ ゆきひろ)



プロフィール

東京新聞・中日新聞論説委員
ジャーナリスト

1953年千葉県生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。

77年に中日新聞社入社。東京本社（東京新聞）経済部勤務、ジョンズホプキンス大学高等国際問題研究大学院（SAIS）で国際公共政策修士（MIPP）、ブリュッセル支局長などを経て論説委員。06～09年に政府税制調査会委員、05～08年に財政制度等審議会臨時委員、12年～13年に大阪市人事監察委員会部会長など。

07年から日本記者クラブ企画委員、13年～16年に規制改革会議委員、16年から規制改革推進会議委員など多数の公職を務める。

著書『日本国の正体 政治家・官僚・メディア…本当の権力者は誰か』（講談社）で09年の山本七平賞受賞。近著は『2020年新聞は生き残れるか』（講談社）。

趣味はスキー。SAJ スキー指導員の資格を持つ。

著書・その他

【テレビ】

TOKYO MX(DHCシアター)「ニュース女子」
※メインMC
YTV「そこまで言って委員会 NP」
EX「朝まで生テレビ！」
BS朝日「激論！クロスファイア」
TOKYO MX「モーニング CROSS」
EX「ビートたけしのTVタックル」
EX「情報満載ライブショー モーニングバード！」
ほか多数

【著書】

「2020年新聞は生き残れるか」（講談社）
「政府はこうして国民を騙す」（講談社）
「官邸敗北」（講談社）
「日本国の正体 政治家・官僚・メディア
…本当の権力者は誰か」（講談社）
「百年に一度の危機から日本経済を救う会」
(PHP 研究所) ほか多数

講演テーマ

- 安倍政権と今後の日本
- 激動する世界～日本の針路を考える
- これからの日本経済を展望する

その他

